

私立大学情報教育協会
平成24年度
大学職員情報化研究講習会
基礎講習コース

F3班 team∞

1

テーマ1

責任ある情報を公表するための
職員の役割

2

テーマ1：責任ある情報を公表するための職員の役割(1)

情報を公表する意義、目的

- 社会的責任
- 教育力向上や改革

さらけだす

社会的反応

改善

社会的反応があつてはじめて、**公表が出来た状態**と言える。

3

テーマ1：責任ある情報を公表するための職員の役割(2)

情報公表の現状

- 高校生にとって
ほぼ満足なのでは？
→見せ方については改善の余地あり
- 保証人、社会にとって
踏み込んだ部分については満足できる状態とは言えない。
例) 就職率

4

テーマ1：責任ある情報を公表するための職員の役割(3)

教育情報の作られかた

- 部署ごとに縦割り
- 依頼された情報を提供しているのみ
- 各部署ごとの判断

⇒横のつながりが弱い

5

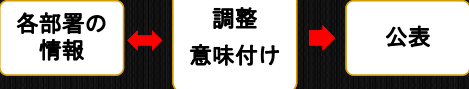
テーマ1：責任ある情報を公表するための職員の役割(4)

公表する情報の作り方

- 発信するのは誰か？⇒職員
- 教職員一体のプロセスづくりが課題

従来：各部署の情報→公開

あるべき姿：



6

テーマ1：責任ある情報を公表するための職員の役割(5)

責任ある情報を公表するための
職員の役割についてのまとめ

スタートは職員から！
教職員一体のプロセス作りが課題

テーマ2

**学士課程教育の質的転換を図る
ための職員の役割**

テーマ2：学士課程教育の質的転換を図るための職員の役割(1)

教育の質的転換の必要性

外部要因：**社会が求める人材A**を送り出せていない
内部要因：大学に入学する人材の**変化B**

A 流動的な社会に対応できる人材、
世界に通用する人材

B コミュニケーション能力の低下、
大学全入時代、受け身の姿勢

テーマ2：学士課程教育の質的転換を図るための職員の役割(2)

教育の質的転換のための準備

教育課程の
体系化

組織的な
教育の実施

授業計画
の充実

教員の教育力向上、
全学的な教学マネジメントの改善(学生の
学修環境の整備等)

例えば・・・ 少人数教育、教室(グループワーク)、
学生サポート体制、e-ラーニング、
学生カルテ、シラバス

テーマ2：学士課程教育の質的転換を図るための職員の役割(3)

教育の質的転換におけるICTの活用

どうしたら能動的に学ぶ機会がふえるか？

例) 授業計画の充実(シラバス)
準備学習の充実&明確化

ICTを活用することで

能動的に学ぶ機会の増加！！
いつでもどこでも学習に取り組むことが出来る。
→事前課題を当然の前提とすることで、授業の質向上に貢献

学生の自信up! 教員のモチベーションup!

テーマ2：学士課程教育の質的転換を図るための職員の役割(4)

教育の質的転換に職員の果たす役割

教員の意識改革！！
(シラバスの改善、教育方法の改善)
・職員の意識改革も必要

提案は職員から
そのために・・・データの確保(本学の)
(現状分析、学生の満足度)

職員「サポートします!!!」
(ただし、デジタルは徹底する)

教員「私、PCできな一い！」

誘導

テーマ2：学士課程教育の質的転換を図るための職員の役割(5)

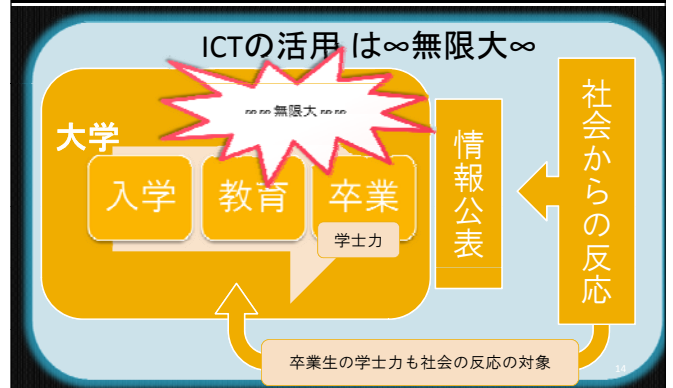
学士課程教育の質的転換を図るための
職員の役割についてのまとめ

上手に誘導する

教員の意識改革をサポート

13

まとめ



14

ご清聴ありがとうございました。



15